

ヴェント第5回演奏会が終わって ～独り善がりの回想記～

青木公正（昭47年、経済）

2016年7月9日（土）午後2時、発足10周年記念を兼ねたヴェント第5回演奏会が三鷹市芸術文化センター 風のホール で開演しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、528名ものお客様にご来場いただき、出演者52名は、身体中をアドレナリンが駆け巡ったまま恍惚の時間を過ごしました。最後に、長くもあったこの2年間、短くもあったこの2時間半を思いながら、ご来場のお客様と一緒に「浜辺の歌」を歌い、「塾歌」に始まった演奏会が終了しました。

○今回の演奏会に至る2年間は、次のように準備してきました。

【全員】

第4回演奏会を無事終了し一息ついてまもない2014年7月13日に、永福和泉地域区民センターにおいて、第5回演奏会のための練習が始まりました。以後、2016年7月6日のゲネプロまで、高井戸地域区民センター、荻窪地域区民センター、向陽中学、浜田山会館で、合計55回の練習会を重ね、加えて、昨年、今年と2回にわたる軽井沢合宿（一泊二日）もこな



しました。練習会場は当初、従来からの永福和泉地域区民センターでしたが、会員数が増え同センターが手狭になったため、荻窪地域区民センターに移りました。練習会場確保は演奏会実現の必須条件であり、担当の方が大変苦労しているところです。



演奏会の5日前に、先生から会員全員にメールがあり、当日の流れ、演奏曲目についてのアドバイスをいただきました。演奏会でのステージ配置図は8種類にわたり、ステージ移動の巧拙は演奏会の出来栄えに大きく影響すると先生から指導されていました。

【演奏会実行委員会】

- ・2015年3月1日、ヴェント役員会において、第5回演奏会実行委員会の立上げが決議されました。

- ・役員会において第5回演奏会のテーマを「恋」にするか「愛」にするか活発な議論の結果、「愛」となり、2015年4月に会員全員に、「愛という言葉で思い出される曲は何か？ その中で自分自身が歌ってみたい曲は何か？ ステージ全部を愛という言葉で包み込むような演出面でのアイディアはないか？」のアンケートを実施しました。
- ・2015年8月11日、三鷹市芸術文化センター 風のホール 抽選に当選。
- ・2015年11月8日、第1回演奏会実行委員会開催（25名）、この中で、14の仕事分担チームの仕事内容、責任者、スタッフなどが決められました。また、先生から、曲目及び3部構成についての説明をいただきました。
- ・それ以降、6回にわたり演奏会実行委員会が開催され、各分担チームの仕事の進捗状況の報告、問題点や課題について協議しました。

【ヴィエント以外の方々からのご協力】

演奏会実現にこぎつけるためには、舞台管理、撮影、受付などヴィエント以外の方々のご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

〇いよいよ第5回演奏会当日となりました。

- ・会場 三鷹市芸術文化センター 風のホール
- ・出演者 52名（ソプラノ10名、アルト8名、テノール16名、バス15名）
他にウクレレ同好会14名



- ・曲目

慶応義塾塾歌

- I部 ヴィエント（風）のテーマ曲：そこに風がいる 風
- II部 世界の歌：春の日の花と輝く ピクニック トロイカ シェリトリンド
帰れソレントへ KE KALI NEI AU ブルーハワイ
- III部 愛の歌：アメージング・グレース 愛燦燦 Stand Alone バラ色の人生
かあさんの歌 あの素晴らしい愛をもう一度
広い河の岸辺 麦の歌 大地讃頌

開演5分前の予鈴が鳴ると、ステージ下手に入場のため整列していた会員の緊張感が高まり、ある者は水で喉を潤し、ある者は蝶ネクタイの位置を確認し、ある者は背伸びをするなどして、入場開始を待ちました。

ステージに一步足を踏み出すと、あとは一気に時間が流れました。お客様を遠目で見える程度の余裕をもちながらも、先生の「表情豊かな顔、時には大きく時には小さく動く腕、しなやかな指先」に全てをまかせて、2時間半を歌い続けました。

次に、演奏会の5日前に先生からいただいたアドバイスと、我々の思いをご紹介します。

【そこに風がいる】

- 先生アドバイス：男性の主旋律から女性的主旋律へ、それぞれが主旋律を歌う意識をもって。1番の最後は遅くしない。2番の最後はpピアノで。大切に。ぐっと落とす。
- 前回演奏会のオープニング曲でもあります。目をこらせば風が見え、松林からは青い空と白い鳥が見える。そんな情景を思って歌いました。
— すずしさの中に寒さを感じいる 秋の深まり目にはみえねど

【風】

- 先生アドバイス：最後に「風が吹く今がその時！」という部分で、何かに挑戦していくことに対し、背中を押されているような希望を感じます。もう一度朗読して下さい。やはりこれもfフォルテで終わりますのでかぜの「ぜ」を喉をとおさないで響を感じて下さい。
- 三善晃メロディーは難しい。先生からは歌詞を何度も読むようにと指示され、また、和音ができていないと何度も指導されました。
— はつなつの風になりたる和音かな

【春の日の花と輝く】

- ・先生アドバイス：出だしから遅くならないように前に進んで歌う。mf. mp の交互の表現を確認する。
- ・昔みた映画の一コマを思い出しながら、あなたへの思いは永遠であると、自己陶醉して歌いました。

— 恋慕とは手をつなぐこと朧かな

【ピクニック】

- ・先生アドバイス：みんな笑顔でリズムにのって。
- ・楽しく、ひたすらたに楽しく歌いました。会員の中にヤギ語を話せる超能力者がいるのをご存知だったでしょうか。ピクニックができなければ、近所の散歩でもよしです。

— 薫風に五月の地球つつまれて 銀ブラもよし緑道もよし

【トロイカ】

- ・先生アドバイス：合唱部分は3人乗りのそりをイメージして。
- ・3人のソリストの乗ったトロイカは、鈴の音を高らかに鳴らし、粉雪をけ散らし、幸福を運んでくるようでした。東京にはトロイカはなく、かわりにシンデレラエクスプレスのCMが評判となりました。

— Love me more 新幹線にクリスマス

【シェリトリンド】

- ・先生アドバイス：スペイン語をもう一度見直して下さい。
- ・メキシコ歌曲で、出会った美しい女性への思いが歌詞に込められています。シェリトリンドとは、「美しい人、素敵なお人」の意味。

— 君がため美しき貝を拾いしは 三年前のソレントの海

【帰れソレントへ】

- ・先生アドバイス：どの部分を大切に少し声量を落とすか、どこで出すか確認して下さい。
- ・離れ去った恋人に呼びかけるソリストの万感の思いは会場を魅了しました。日本では、大昔に「僕は泣いちっち（守屋浩）」、少し昔に「木綿のハンカチーフ（太田裕美）」が流行りました。いつの世も、ふるさとは捨てられた人が残り、都会には捨てた人が集まります。それゆえ、都会に住む異邦人にとってふるさとは懐かしいのかもしれない。

— 夏来る無事でいますかふるさとは はなこ先生の古文なつかし

【KE KALI NEI AU】

- ・先生アドバイス：リラックスして。ハワイの風が感じられたらいいですね。ご自分の気持ちのいい程度に揺れてください。
- ・ハワイの結婚の歌。ウクレレ同好会との初の合同演奏でした。先生の指揮に合わせ、全員が左右に揺れながら歌いました。



— メロディーが重なりあったり離れたり 指揮者の指はマジシャンのよう

【アメージング・グレース】



- ・先生アドバイス：歌詞をもう一度確認し祈りをもって表現できるといいですね。
- ・澄んだソロと穏やかなフルート、それに敬虔な全員の歌声。神の恩寵が会場いっぱいに溢れているようでした。

— 夏木立少女聖書を抱きけり

【愛燦燦】

- ・先生アドバイス：言葉の確認を！最後の「あーあー」は気持ちを込めより広がったイメージで。
- ・1番はかなしい、2番はかよわい、3番はかわいい、本番直前まで、周りの人と歌詞を確認しあいました。小椋



佳が歌うのを聞いたとき「さんさんと降る雨」の季節はいつだろうか?と思いました。

— 雨垂れは窓を開いて聞くがいい 心配ないよと語りかけてくる

【Stand Alone】

- ・明治には、坂の上にひとかたまりの雲がはっきりと見えたのでしょ。秋山真之の魂がソリストに乗り移ったかのようでした。昔、槍ヶ岳の山頂に立ったら、そそり立つ入道雲がすぐそこにありました。

— 夏雲や岳人の歌ぶら下がる

【バラ色の人生】



- ・先生アドバイス：表情も素敵になり GOOD！この調子。
- ・バラ一輪を手にして歌う様は、ソリストはエディットピアフを凌ぐ妖艶さをみせ、全員が「わりなき恋(岸恵子)」の主人公よりも魅惑的でした。

— 裾揺れの楚々たる人や紅の薔薇

【かあさんの歌】

- ・先生アドバイス：小人数です。のびのびとお声を出して下さい。
- ・1番は無伴奏、斉唱で静かに入り、2番からは合唱となる7人（全員、80歳以上）の歌です。歌声や歌い方に人生の重みを感じたステージでした。



— 気になりし母を見舞いて帰る道 夕焼け雲の何故か静寂

【あの素晴らしい愛をもう一度】



- ・先生アドバイス：ピアノ・ギターの伴奏にのって明るく歌いあげたい。笑顔で！
- ・ワイルドワンズが湘南サウンド、かぐや姫が四畳半メロ

ディーなら、加藤和彦北山修は青春ソングです。

— 真っ直ぐな団塊世代の青春は デモとフォー

クと任侠映画

【広い河の岸边】

- ・先生アドバイス：ゆったりしたテンポですが音楽は前に進みます。後ろに引っ張らないように。
- ・もし、目の前の河が広く渡れそうもなければ、岸边の待合室で、のんびり歌を口ずさみながら小舟を待つのも選択肢です。

— 句と遊ぶ待合室の日向ぼこ

【麦の唄】

- ・先生アドバイス：何度も練習したアーのところは大きく出さない。軽く！
- ・懐かしい人々と離れ、新しい大好きを探す旅は、なかなか疲れるものです。未来の故郷から歌が届いてくることを信じて歌いました。

— 故郷にそそぐ陽射しの暖かさ 「ふるさと」の響きに似つかわしくて

【大地讃頌】

- ・先生アドバイス：皆様で気持ちを一つにコンサートを締めくくりましょう！
- ・大地讃頌を2年間の集大成として歌えるとは、何と素晴らしいことでしょうか。感謝を込めて歌いました。最後に、先生の手が高く止まり、我々の声が止み、そしてホールには残響がありました。

— 七月の三鷹への夢ゆるぎなく 五線譜のうえ季節が過ぎる



この後、踊る太陽（アンコール曲）を歌い、お客様と一緒に浜辺の歌を歌い、ホワイエでお客様をお見送りし、興奮し慌ただしかった一日が終わりました。

2年後の第6回演奏会に向けて、9月4日から練習開始！です。